

## 活動状況報告（8月）

学生留学コース 5期生 藤原 香夏

8月のエドモントンは30°近くになる日と20°を下回る日が混在し、6月や7月には午後10時頃だった日没時間も8時頃になり、夏の終わりを感ずる1カ月でした。

さて、今月の報告書では参加したボランティアについてご報告します。今月は”2023 AMERICAS TRIATHLON CUP EDMONTON”のボランティアに参加しました。エドモントンはこれまでも何度もトライアスロン大会の会場となっており、世界選手権の会場となったこともあるようです。エドモントンの北東から南西を横断するNorth Saskatchewan川があり、その川沿いはサイクリングロード、ランニングロードとして整備されており、トライアスロンに適しているまちのひとつです。今回の大会は、大会数日前に実施された川の水質検査にパスできなかったため、Run/Bike/Runのデュアスロン形式で行われました。

私は、ランニングコースの折り返し地点に立ち、選手がコース間違えをしないよう声をかけ、コースを通過しようとする一般の方々に川沿いの道路がトライアスロンの大会で使用するため通行止めになっていることを伝える仕事でした。通行止めになっている道路は、多くの市民がランニングやバイクのコースとして毎日利用している道で、通行止めであることを知らず、通過しようとする方が多くいました。その度、トライアスロンの大会のため通行止めになっていることを伝えました。しかし、「私は55年間毎朝この道を歩いているから、この道を通過しないなんてできない。」と言いボランティアの制止を振り払う方や、なかにはFワードを言い放つ方もいました。ネイティブの方に怒った様子で言葉を伝えられる経験は初めてで少し委縮してしまい、どんな言葉を返すべきなのか、またどのように伝えれば納得してもらえるのか、瞬時に適切な言葉が浮かばず、自分が伝えられる最大限の言葉で、何度も説明を繰り返しました。

私の英語の伝え方や発音が悪く、何度も聞き返されたり、怒っている方は特に話すスピードが速く、相手の言っていることを聞き取ることができなかつたりという苦労もありました。しかし、今回はこれまでのボランティアでは得ることのできなかった経験ができましたし、スポーツイベントの開催において市民の賛同や協力をいかに得られるかというのはひとつのポイントであると感じました。

このような経験ができてるのは皆さんにサポートいただいているおかげです。引き続き様々な経験を経て多くのことを吸収していきたいと考えていますので、ご支援、応援の程よろしくお願ひ致します。

